

(様式1)

|     |       |      |     |     |              |
|-----|-------|------|-----|-----|--------------|
| 校 種 | 小 ・ 中 | 学校番号 | 3 2 | 学校名 | 宇都宮市立瑞穂野北小学校 |
|-----|-------|------|-----|-----|--------------|

## 令和7年度 学校経営計画

### 1 教育目標

#### (1) 基本目標

「人間尊重の教育」を基盤とし、豊かな人間性をもち、自ら学び正しい判断力と実践力を身に付けた、健康でたくましく生きる児童を育成する。

#### (2) 具体目標（目指す児童像・合言葉）

・進んで学ぶ子 ・はげましあう子 ・たくましい子 <かしこく・やさしく・たくましく>

### 2 学校経営の理念（目指す学校像・教師像含む）

誰もが安心感の中で主体的に学び、活力にあふれる学校づくり

《目指す学校像》「安心感の中で成長できる学校」

「学ぶ楽しさを実感できる学校」

「互いを認め合い高め合う学校」

「地域とともにある学校」

《目指す教師像》「児童一人一人に向き合い、信頼される教職員」

「使命感をもち、学び続ける教職員」

「支え合い、連携・協働する教職員」

### 3 学校経営の方針

#### (1) 安心と成長の場となる学校をつくる

- ・ 温かい人間関係の下、児童一人一人のよさと可能性を生かし、行きがい・居がいのある学校づくりに努める。
- ・ いじめの未然防止や早期発見・早期対応、教育相談体制の整備、不登校への対応など、児童指導上の諸課題への対応のための組織的な支援体制を整え、支援にあたる。

#### (2) 成長し続けるための基盤を培う

- ・ 児童の資質・能力の育成に向け、I C Tを効果的に活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりに努める。
- ・ 困難に負けない強さと他への思いやりの心の育成に向け、認め・褒め・励ます指導により、自信や自己有用感の向上を図るとともに、道徳教育の充実を図る。
- ・ 心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力の育成に向け、望ましい食習慣や運動を通して体力の向上を図るとともに、実践的な避難訓練等を通して危機回避能力の育成に努める。

#### (3) 未来を生き抜く力を養う

- ・ 1人1台端末の活用を通して、情報活用能力の育成を図るとともに、よりよい情報の使い手を目指すデジタルシティズンシップ教育を推進する。
- ・ A L Tを活用し、英語によるやり取りを中心とした授業づくりに努め、児童のコミュニケーション能力を育成する。
- ・ 人権、平和、環境、少子高齢化等の現代的な諸課題と向き合い、解決を図ろうとする活動を通して、持続可能な社会づくりに向けた意識の涵養に努める。

#### (4) 多様な児童の状況に応じた指導・支援を行う

- ・ 一人一人の教育的ニーズに対応するために、多様な学びの場を提供するとともに、教職員の指導力の向上を図る。

- ・ 関係教職員が情報を共有するとともに、家庭や地域、諸機関と連携し、いじめや不登校対策を強化する。
- (5) 信頼される教職員を育て、学校の組織力を高める
- ・ 高い人権意識とコンプライアンス感覚を磨き、教育に携わるものとしての自覚を確固たるものとする。
  - ・ 使命感と向上心をもって自己研鑽に努めるとともに、互いに認め合い、高め合える教職員組織をつくる。
  - ・ デジタル機器を活用しながら業務の効率化を進め、児童と向き合う時間を確保し、心身ともに健康な状態で職務を遂行することができるよう、ワークライフバランスを意識した働き方を推進する。
- (6) 地域とともにある学校づくりを進める
- ・ 体験活動や交流活動を通して地域を愛する心を育てるとともに、社会に参画する意識と協働する態度を育てる。
  - ・ 家庭や地域と本校の目指す児童像を共有し、協働しながら健全な児童の育成に努める。
- (7) 新しい時代にふさわしい教育環境を整える
- ・ よりよい教育環境を保ちながら、多様化する社会的ニーズにも配慮した学校施設で、児童をはじめ利用者が安全・快適に過ごせる教育環境の整備に努める。
  - ・ 1人1台端末の活用や校務のデジタル化の推進に向けた環境整備に努める。

**[瑞穂野地域学校園教育ビジョン]**

9年間の連続した学びの中で、生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな人間性・社会性）を育てる小中一貫教育  
～言語能力を身に付け、他者と関わり合いながら、たくましく成長する児童・生徒の育成～

#### 4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

- ・ 知・徳・体の調和のとれた児童の発達を目指すため、各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の相互の学びの関連を図りながら、児童の実態と特性を十分配慮し、心身共に健全な育成を図れるような編成を行う。
- ・ 地域学校園教育ビジョンである生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな人間性・社会性）を育む教育課程となるよう、9年間の学びの連続性を考慮した編成を行う。
- ・ 保護者や地域住民の願いを踏まえ、本校の教育の目指すところを共有し、地域の教育力が生きる編成を行う。

(2) 留意点

- ・ 前年度の各種調査等の結果を踏まえ、知・徳・体の課題を明確にして指導の重点化を図る。
- ・ 教科等横断的な視点を持ち、各教科の学習内容に関連する道徳科・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動の実施内容や時期を考慮する。
- ・ 地域の教育資源を把握し、教育活動の中に積極的に取り入れる。
- ・ 地域学校園児童生徒の課題から、育てたい力を明確にし、共通実践等を取り入れる。

#### 5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- 小規模校の特色や地域の教育資源を生かした教育活動、小中が連携した継続的な教育活動により、地域とともにある学校づくりを推進する。
- ・ 業務内容の見直しやデジタル機器を活用することで業務の効率化を図り、児童とともに過ごす時間を大切にするとともに、教職員がもてる力を有効に発揮し、協働する学校づくりに努める。

（学校課題） 主体的に学習に取り組み、課題を解決していける児童の育成

～ともに学び喜びを味わう体験を、理科や生活科の授業を通して～

(2) 学習指導

- ・ 児童自ら問いをもち主体的に学び合う授業の工夫

(3) 児童生徒指導

- ・ 困難に負けない強さと他者への思いやりの心をもった児童の育成

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ・ 自ら考え行動し、心身ともに健康で安全な生活を送ることができる児童の育成

## 6 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力の設定

- 本校として育みたい資質・能力を次のように設定する。

「問題解決力」

- ・ 課題を主体的に捉え、見通しをもって他者とかかわりながら解決していく力

「表現力」

- ・ 根拠を明確にして考えを形成し、目的や場面、相手に応じて文章や発話で適切に伝える力

「チャレンジする力」

- ・ 失敗を恐れず、未知の内容についても積極的に挑戦しようとする態度
- ・ 困難やつまづきに対して、柔軟な発想や創意工夫で回復を図ろうとするしなやかな強さ

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- 基本的にすべての教育活動を通して、育てたい資質・能力の育成を目指す。

- ・ 諸計画に育てたい資質・能力を設定して身に付いた姿を具体的に表すとともに、実施後に検証し、改善に生かすマネジメントサイクルを確立する。

◇ 縦割り班活動を通して、役割を自覚し責任をもって取り組む態度と協働する態度を育てる。

◇ 地域の教育資源の活用と交流を通して、人とかかわる力と感謝の心を育てる。

## 7 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

## 8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

① 基本的な考え

児童が、地域に対する愛着を深め、将来地域社会に貢献できるようになるためには、地域の自然や人材などの教育資源を活用し、体験を通して学ぶ機会の充実を図ることが必要である。そのために、地域住民の学校に対する思いを受け止め、地域と学校が児童への教育に対する考え方を一にし、円滑な連携を図り協働することができるよう、社会に開かれた学校づくりを推進する。

② 主な取組

- ・ 授業等における地域の人的資源の積極的活用
- ・ 学校だよりやホームページ等による情報の発信・提供
- ・ 地域に開放したフリー参観の実施
- ・ 魅力ある学校づくり地域協議会との連携による学校支援ボランティアの募集と活用

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的な考え

学校園内の教職員が、瑞穂野地域の児童生徒の実態を理解した上で、目指す児童生徒像を共有し、9年間を通した継続的・系統的な指導により、生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな人間性・社会性）を育むとともに、児童生徒が地域に愛情をもって連携していこうとする態度を育てる。

② 主な取組

- ・ 基礎期における学習習慣（特に聞く、話す）の徹底
- ・ 「学習のきまり」や「家庭学習」についての系統的な指導
- ・ 体力テスト結果の分析と共有、補強運動の実施
- ・ 各種運動検定表の改善
- ・ 衛生面や感染症予防の指導の共通化による保健指導の充実
- ・ 学校園食育だよりの発行やみずほの献立の実施等、統一した食育指導の充実

（３）不登校対策

① 基本的な考え

新たな不登校を生まないためには、学校が安心して過ごせる児童の居場所であることが最も大切である。そのために、教職員がそれぞれの立場で児童に関わり、児童・保護者と信頼関係を築き、情報を共有し、チームとして対応していく。

② 主な取組

- ・ 互いのよさを認め合い、児童一人一人が存在感を得られる学級づくり
- ・ 自己肯定感を高める日々の言葉掛けや支援
- ・ 「欠席状況共有シート」等を活用した児童の状況の共有
- ・ 欠席した児童への電話連絡、家庭訪問、日々の言葉掛けの確実な実施
- ・ 不登校対策担当教員を中心とする組織的対応
- ・ 保護者との積極的な関わりによる不登校要因の分析と支援

（４）G I G Aスクール構想

① 基本的な考え

G I G Aスクール構想の実現を目指し、児童・教員が協働学習ソフト等を活用した授業を実践し、教科の学びを深め、学びの本質に迫れるよう、指導計画の工夫や学習環境整備や職員研修等に努める。

② 主な取組

- ・ プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付ける学習活動の計画的な実施
- ・ 協働学習ソフト等を活用した授業の実施
- ・ A I 型個別学習ドリル等の学習履歴を活用した学習支援
- ・ I C T支援員による教員のI C T活用指導力向上のための校内研修と授業支援の実施

（５）宇都宮学

① 基本的な考え

児童が郷土への愛着をもち、郷土のよさを理解し、未来を見据えて行動できるよう、教育課程に宇都宮学を位置付け、地域の教育資源や資料等を活用し、伝統を継承する人の生き方に触れる体験的な活動や、郷土の歴史、文化、伝統、産業、風土等について理解する学習の充実を図る。

② 主な取組

- ・ 3年社会科の全体、4年社会科の一部で副読本を用い、5、6年生では総合的な学習の時間（自然・交通、伝統文化）に位置付けて学習する。
- ・ 全学年の道徳科における宇都宮市道徳科地域教材の活用
- ・ 地域及び地域学校園と連携を図った学習活動の充実